

氏 名 宇 田 秀 士



所 属 ・ 職 名 美術教育講座（美術科教育）・助教授

研究室電話番号 0742-27-9223  
（ダイヤルイン・FAX 兼用）

電子メールアドレス udah@nara-edu.ac.jp

最終学歴及び学位 大阪教育大学大学院教育学研究科修士課程修了（1988）  
教育学修士（1988）

所 属 学 会 等 美術科教育学会会員（1998.9-2004.8 学会通信担当理事）, 大学美術教育学会会員,  
InSEA(The International Society for Education through Art)会員(2008InSEA  
世界大会 in 大阪 準備委員)

専 門 分 野 美術科教育学（題材・教材開発を中心とした授業研究, 近代日本美術教育実践史  
研究）

#### 研究と教育について

研究テーマは、脱領域的な発想を生かした題材開発並びにそれを基にした授業研究と近代日本美術教育実践史研究を2つの柱としています。現在までに開発した授業題材としては、「夢たまご」、「ワンダーランド BOX」、「大昔の不思議な○○」、「魅惑の身体」、「正倉院展鑑賞ワークシート」、「なりきり参加型ギャラリートーク」、「アート・カード日本語編」などがあります。

近代日本美術教育実践史研究では、山本鼎の自由画教育と国定教科書「新定画帖」、「造形遊び」の成立と展開、鑑賞教育問題の浮上と海外からの移入状況、教育改革と図工・美術教育といったトピックに関して、「教師の<意識・規範・文化>」といった観点から考察を行っています。

活力があり、周囲の状況を変えることのできる人を育てたいと考えており、そのために、各自がもつ知的な好奇心を刺激する工夫を心がけるようにしています。学部段階における卒業研究では、実践の中で生きる題材開発を、大学院段階における修了研究では、実践の歴史と題材を絡めながら、それぞれ授業研究を行っています。

#### 主 な 研 究 業 績

- ・単著 論文, 大正後期の信濃教育会下伊那部会における図画科教育研究 - 教育思潮, 教授方法の「咀嚼・改革」の観点から, 大学美術教育学会誌 31, 1999 年
- ・共著 著書, 美術教育の課題と展望, 建帛社, 2000 年
- ・単著 論文, 美術教育実践における教師の<意識・規範・文化>, 美術科教育学会誌 22, 2001 年
- ・共著 著書, 美術教育概論, 三晃書房, 2002 年
- ・単著 論文, 小学校図画工作科における初期「造形遊び」の内容, 美術科教育学会誌 25, 2004 年

#### 主な授業担当科目

大学院：図工・美術科教育学特論(教科教育科目), 図工・美術科教材開発特論(教科教育科目)

学 部：幼児の造形(教科又は教職科目), 図画工作(教科科目), 美術教育特講Ⅰ,Ⅱ(教科又は教職科目), 初等教科教育法(図画工作)(教職科目), 中等教科教育法(美術)Ⅱ-Ⅳ(教職科目)

学 会 活 動 平成 15(2003)年 12 月 20 日開催 美術科教育学会第 5 回西地区会<研究発表会 in 奈良>では、「25 年を経た「造形遊び」の功罪<新たに切り開いた道>と<巻き起こした混乱・誤謬>」というテーマの研究発表・討議をコーディネートしました。当日は、約 100 名の参加者を得て、活発な会となりました。参加いただいた皆様ありがとうございました。討議については、平成 14-16 年度科学研究費補助金基盤 C(2) 研究成果報告書(代表宇田)に収録しております。

社 会 的 活 動 第 44,46,48,50,51,54.55.56 回造形表現・図画工作・美術教育研究全国大会分科会助言者・コーディネーター 大東市・北河内大会(1993), 長崎市大会(1995), 大阪市大会(1997), 大分大会(1999), 大阪府大会(2000), さくやこのはな大阪大会(2003), 松山大会(2004), 佐賀大会(2005), 第 1~7 回大阪府堺市泉北ニュータウン絵画コンクール審査委員長 1997~2003.

講 演 の テ ー マ 「鑑賞教育の基本と展開」, 「夢たまご実習」, 「図画工作・美術教育と総合的な学習」, 「造形遊びの変遷と課題」, 「図画工作・美術科における指導と評価」